

## 実績確認概要書

平成 23 年 2 月 25 日

審査機関名 (株)JACO CDM

### 1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	白洋舎横浜事業所における、ガス焚き蒸気ボイラの高効率タイプへの更新による省エネルギー事業
承認番号	JCDM-PJ0039
排出削減事業者名	株式会社白洋舎 ユニフォームレンタル横浜事業所
排出削減共同実施事業者名	株式会社 三井住友銀行 株式会社 リサイクルワン (その他関連事業者名：裕幸計装株式会社)
事業実施場所	株式会社白洋舎 ユニフォームレンタル横浜事業所 神奈川県横浜市港北区新羽町 1 2 7 6
事業の概要	ガス焚き蒸気ボイラの高効率タイプへの更新により、エネルギー使用量削減と CO <sub>2</sub> 排出量削減を行う。
排出削減量の計画	89.48 t CO <sub>2</sub> /年 (事業実施期間合計 357.92tCO <sub>2</sub> )
国内クレジット認証期間	開始日 2009 年 4 月 1 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラーの更新

### 2. 本実績確認の対象期間

2010 年 1 月 1 日～2010 年 12 月 31 日 (第 2 回目実績報告)

### 3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量

74 tCO<sub>2</sub> (2010年1月1日～2010年12月31日)

#### 4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること	<p>1)開始日の確認 初回実績確認の時点で、承認排出削減事業計画通り2009年4月1日に本事業が開始されたことを、エネルギー使用実績データ及び事業者への質問により確認している。</p> <p>2)対象期間中の設備稼働確認 承認排出削減事業計画に従い、更新された高効率ガス焼きボイラ〔三浦工業株式会社製、SQ-2000ZS〕が使用されていることを、関係者への質問、ガス流量計の計測記録（毎日）及び東京ガス発行の「ご請求書兼ガス料金等払込金受領証」（毎月）により確認した。</p>
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	<p>1)モニタリング方法の確認 承認排出削減事業計画に従い、事業実施後の都市ガス使用量等のモニタリングが実施されていることをガス流量計の計測記録（毎日）により確認した。</p> <p>2)活動量の正確性 都市ガス使用量（ボイラー毎、月毎）は、ガス流量計の計測記録の確認により、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通り、正確に集計されていることを確認した。また、ノルマル換算が正しく計算されていることを確認した。</p> <p>3)単位発熱量、排出係数等の係数の確認 排出削減量の算定式及び使用されている都市ガスの単位発熱量が、承認排出削減方法論〔別表〕及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。また、都市ガスの排出係数は、修正「排出削減方法論について」（修正日：平成23年1月27日）〔別表〕に準拠していることを確認した。</p>

	<p>4)排出削減量算定方法及び算定結果の確認</p> <p>事業実施後排出量、ベースライン排出量、並びに排出削減量の算定結果をガス流量計の測定結果との突合、方法論の算定式との照合、計算過程（ノルマル換算を含む）の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認した。</p> <p>ベースライン排出量算定のためのボイラー効率〔新・旧〕は、カタログ値の低位発熱量ベースのものを高位発熱量ベースに上記修正方法論（参考）に記載された換算係数を用いて適切に換算されていることを確認した。</p>
<p>算定期間が2013年3月31日を超えないこと</p>	<p>本実績確認の対象期間は、2010年1月1日から2010年12月31日までであり、排出削減量を算定した期間が2013年3月31日を超えないことを確認している。</p>

#### 5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

今回の検証において承認排出削減事業計画からの変更点が発生していないことを確認した。

#### 6. 特記事項

確認した排出削減量に相当する省エネ量について、原油換 38.1KLであることを確認した。

以上